

バストス週報

第二百六十六号
昭和三十年五月十三日発行
DIRETOR KOITI MORI
REDATOR SHION ODA
REDAÇÃO RUA PRES. VARGAS 188 C.P. 112 BASTOS
誌代 一ヶ月 80¢

座談會提唱

○とにかく一度話し合つて見
ましよう

師範学校とめぐつて前回道にいろいろと、のべてまいりましたが、之を要約しますと、次の諸項となります。

1. バストス全体のことを、主として考へると、師範学校を強化すること、之に獨立した校舎を附与することは、案として大方の支持を得るものと思はれること。
2. 獨立した校舎とは、元の組合各種工場の建物を指し、之れを銀行より買戻して修理の上充當すること。
3. 買取り資金は
 - A. バストス内各セツソンに在る小学校の附属土地を必分し
 - B. 別にリリーフアの売出しなど計画す
4. 本案はフラ格バストス移住地移管問題と直接関係があるの、よいよ表面化す場合はバストス連合日本入会によつて処理される性質のものである。
5. 前回道にのべた師範学校強化案を連日会の議題として取り上げて貰う運動を起すのが本案の主旨である

座談會提唱の主意

毎年私共はバストスの入植祭に王子様をマツリ、芝居をマツリ、のど自慢や踊りをマツリ御土を豊かな催した陶然とします。それは大へんよいことであり、それらのことの出来るのは結構ではあるが、もう一歩進んでバストス文教の爲めに、精神的な意義をもち、文化の殿堂として後世にのこるものを、子孫の遺産としてのこりたいものであります。それはバストスを学校都市として、よりよく繁栄せしめ、重きなす一案でもあります。私共の手で師範学校をのこすことが実現できれば一大記念碑をうち建てると同様、不朽の事業ではありませんか。

下段へ


Alfaiataria Imperial



カサノートの祝辞など
服装がイタリついで
いやすと
ホントに
立派です
洋服は必ず
マルヤマへ
御用命!

丸山洋服店

Relojoaria Confiança T. NAKAMURA TUPÁ



ヤヤツ!
大刀もひらめく
オメガもひらめく

ツツパンでもつとも
信用ある弊店を
御利用下さい

結婚ゆいわ
宝飾入指輪
男女腕時計
世界的なマルカ
腕輪・首飾・耳飾
楽器いろいろ

ツツパン市 本バス停市場の前 C.P. 544

中村時計店

座談會 御案内

上記の主旨によつて座談會を開きます。各方面からの御意見もあることと思ひます。何卒御出席下さる様御案内申上げます。

日時 来る五月廿二日 正午より

場所 週報社 サラ

主催 バストス週報社

(会費不要)

バストス人として

No. 1

○ある人の立ちばなしぬすみぎき

甲「バストスには市長さんがあるのかネ」

乙「リノさんが市長さんだよ」

甲「役所には居られんようだが」

乙「サンパウロへ長期出張だ」

甲「市役所の吏員さんたち、長いこと俸給

もらってらん相ながほんとうかね」

乙「そんな嘆もあるな、長いこととて半歳

ぐらいいだろ」

甲「半歳も俸給遅配でよく吏員をまってる

な」

乙「市長さん時々帰所して税金とかきあ

つめて又御出張というが、真偽の程は

判らん」

甲「ベレアドールなら知ってるだろう」

乙「みんな知らんのはやないかね、市役所

の金庫のことはベレアドールのあぶが

り知らんことだと云ってる相だ」

甲「市会を聞いて話問すればいい」

乙「ところがその市会は、今年になつて一

度か二度聞いたさきり、ちか頃さつぱり

市会の話もきかんね」

甲「フシギな所だす、誰も何ともないのか

な、日系ギンさんたち、どうしてい

るのだらう」

乙「きいて見ても答えてはたぶん同じだ」

甲「あと半歳しか寿命ないんで、熱がさめ

ているのだらうか、引くつきバストス

の爲めに働く気なら、選挙事前運動の

意味にせよ、少し活動して見たらうど

んなものだらう」

乙「ギン教育といふやっネ、必要だと思

うが、」

甲「日系ギンさんを引合いに出してはわ

るいかも知らんが、何か今の所、こ

たよりないね」

乙「いつて純メンの方も、まけおあところ

おといつた所だせ」

甲「今の役所の内部のこと、このまじり

さんとやらが本年限やめていって、あ

との始末は、誰がするのかね、

前任者の在職中、さちんと濁へてお

ねはなりんようなことないのかね、こ

んなこと僕達が心配しなくともいい問

生長の家 白鳩會 バストス支部

發會式を行ひます

来る 五月十九日 午後一時

場所 中興 梶田伊勢松氏方

(桑元齒科医院上角)

司會 松尾みさき先生

○白鳩婦人会は各地に支部があります

家庭の光明化を主眼とする婦人一般

の修養会ですから

○バストスの御婦人は、どうぞ進んで御

参会下さる様おすすめ致します

五月十九日 夜七時半

バストス産業会館にて

招尾みさき先生の

講演會

御近所お誘ひ合せお出かけ下さい

来る 五月二十日、廿一日、廿二日

三日間

ツパン市 高安光明寮 に於て

練成光明講座 開催

参会者は 枕、毛布、敷布、及

甘露の法雨 御持参のこと

会費 二二の針を要します

青年男女の方々に特に参加おすすすの致

したい絶好の修養会であります

青年男女に限らず一般のみなさまも参会

できますから、奮ってゆかり下さい

生長の家

バストス誌友連合相愛會

乙「僕は人物ないとは思はん、一人や二

人必おせいレン・ケツパクなクンシジン

はあると思ふ、そいう人けせにおも

ねらす、いたいいことさいうから、うと

んせられるが、そいう正しい人を、

スパイタして教えを乞はなれば、バ

ストスに決してよくならん、

皆さんそう思うだらうよ」

続 開かれた窓々

大宅は一氏の旅行記は次にコロシビア、ドミニカ、ボリビア、パラガイなどであるが直接ブラジルに關係がないから省き、移民政策の記事にうつる。

日本からの移民は、計画移民と、呼ばれ寄せ移民の二つに大別することゝなる。計画移民の多くは、現地の企業体や政府、あるいは移民会社なりが主体となつて、一定の雇用契約のもとに移民を募集し、集団的に船にのせて、農地に送りこむもので、契約移民ともいわれた。これは受入体制ができていて、渡航費の全額もしくは一部、耕地、住宅、農器具、食糧などを支給されるので、入植早々生活に困るようなことはない。その代り一定の期間は、その契約に縛られて、移動の自由をうばわれるのが普通である。しかし、契約の条件が、現地についてみると、まるでちがつていたり、ほとんど履行されなかつたりすることが多い。例えは明治時代にペルーやメキシコの砂糖会社などが入れた契約移民はドレイに似たものであつた。現在中南米各地に散在している老移民の大部分は、命がけでそこへ出てきた人である。ハチンデの苦役に耐えてきた人である。ハチンデアンデス山脈を越えたり、メキシコのサバクをすざで、合衆国に密入国しようとして、途中で水や食物がなくて倒れて、死んだものがどれだけあるか想像できない。

移民でもうける男

私はこんどの旅行で各地の無縁仏の墓にもうけたが、墓に葬られていたのは、い方である。今でもメキシコと合衆国の境には砂の中から白骨がよく出てくる。その中には日本人のものが多いという。すつかりミイラになつていたり、ものもある。身收儀を越えるというおとぎ話的な功者の陰には、こつこつと毒なギョクシ者が無数にかくされていゝことを忘れてはならない。

戦後、計画移民の送られていゝのは、アメリカの軍部によるボリビア移民を、除いては、ほとんどアラジールに限られていゝ。これには、小太郎氏を中心とするアマゾン移民、松原安太郎氏の手に行かされたドラド移民のほか、養蚕移民などもある。アムンツの現状については前回のべた通りである。松原氏は自決したカールが、前大統領が一九四五年のクーデターに追はれて孤島無援のとき、これを経済的に

に支拂したといふので、カールが自ら中央に返り咲くと共に、何でも希望するものをいえといわれ、日本移民を輸入したいといつた。そこで軍用機を出して、ラットクワソ州のドラドを見つけた結果、ここに五千家族を入れた計画を立てた。これをカールが承諾したが、この五千家族は何も日本人に限られていないといわれ、大統領が亡くなつた今もなつては、それハッキリしない。カールは、これに、第一期松原移民約二百家族が日本の各県庁で選考され、日本政府からの渡航費などの援助をうけて入植したのだが、ここでも脱出者が続出した。なにしろドラドスというところは、道路も何とんと通じていないかつた。戦後、まうさきに乗りこんだ小唄勝太郎が、たといふその一部である。ここから、私が直接さいた処によると、(一) 果して作られた契約書に出ていゝ家産、生活費の支給に關する条項が現地では、何一つ実行されない。(二) これまでの費用が全部移民の借金となり、それがその借入証はエンピツで書かれ、金額がハッキリしないものに署名せよといわれた。

Permanente
Salão Toda



皆三才の
サロン
アムンツ街
南米銀行前
サロン戸田ついで
美しく新装された
サロン戸田

完備した内部をくらん下さい
最新な技術と相俟って、必ず
皆様の御満足をいたします

アメリカ コールド
フランス コルテ

(一) 現地で手に入る日用品は何でも市価の二倍以上であった
 (二) 原地に入った時は約束の病院はしつた
 (三) 家も井戸もなく、二ヶ月も行つて谷氷を汲んで来たけれどなかつた
 (四) 移民監督やその手先が、ビートルをもちいて唯一の通路を扼し、入植者の自由外出はもたらさず、外來者の出入も許さなかつた
 これに対して、私が直接松原氏に会い、たゞいた宗明によると、戦後の移民はバカボンド(漂流者)が多すぎて、真面目に働こうとするものが少い、自分はこれでもうけるものか、二百六十コントの買價か、せきたという。おまけに彼は必死の奮闘が、衛隊による航空射撃事件に關連して取調べをうけたりしたため、神志衰弱にかつていて、自分で私に話した。私の見るところでは、彼は大統領の知己、といふのが急にもては、やこが、板も無い大計画を立てて実行にとりかかると、そこら、大統領の急死その他の事件で、事志と及するような結果を招いたものであろう。独裁的性格の強、中南米諸国ではこの種の個人的取引が政府の要人相手に行はれることが多い、これが非常な危険なものであることは、一々实例が示す通りである。しかしドクトス植民地の場合は、土質はいいようだから、交通と輸送の面が改善されれば、将来は有望だと見られる。

まず 青年を

一番いけないのは移民を食ひものにする連中である。リオデジヤネイロで私は、過移民や松原移民の契約条項をつくらせ、という男に会ったが、彼は戦後移民で、五百万円もかけたと自慢した。後で、移民はだましてでもつれてくれはい、サントス渡して後どうなるかとかまわれない、といったようなことを酒の上とはい、え放言した。そこで私と大カシカになり、アラジルの新聞にまで出たのであるが、これ程悪くなくとも、一世の成功の中に、分ちちが入植当時ドレイの条件に耐えなかつたから新移民にもそれを強ひようとする。私には、一世の一世の下士官、旅性といつたために、現地で物議をかもしたのであるが、当時と今では現地に於ける日本人の経済力も内地人の生活水準も非常にちがつてゐるのであるが、このことを十分認識しない人が多い。大量の計画移民は原則として個人や、利会社の手で行うべきものでない。もしそれを行う場合は監督の立場にある日本政府がその責任を負うべきである。南米第一といわれるコチア産業組合では五百家族を入れる計画を立てて、これは大きな組織をもち、古い發行者が

Alfaiataria Tomotani
 R. Adhemar de Barros.
 移転おしらせ
 業務拡張の爲め、アナル街
 サロン・戸田美容院のあとへ
 ミカンサイたましました
 御引立の程願上ります
 高級洋服店
 友谷洋服店

御 礼
 一金巻千式百八拾クルゼイロス也
 CR. 1.280.00
 右はバストス・イストレジャ建設資金トシテ、サメタ
 巴の皆様ヨリ、木ロセ長を通じ、当会計に寄贈
 サレシタ、奉リ御礼申上ルマス
 五月八日
 バストス・イストレジャ建設委員会
 会計 太郎 田 務
 マウネ巴御一同様

大勢いて、入植地の土質、輸送、生産物販賣の面も十分検討してなされるから先づ心配はない。日本の産業組合中央会で、また養蚕移民は、アラジルの移民審議を通過し、第一回の四十七家族がすでに植した。これが成功すれば、まだまだ入植した。アラジルの養蚕家は現在千家族、その九〇%までが日本人であるが、これ位では外国生糸の輸入禁止は望めない。この条は年に六回、最大限八回までマユを作らる。私が提唱したいことは、移民を送る前に、日本の各県から選抜された青年を送られた農業実習生に現地で、戦後北米に帰国後、その経験を生かして、優遇される成績を上げてゐるが、移民の場合には、私はこの方法を適用したい。信頼でき、青年が選ばれて移民地の生活を現地に体験し、それを御里に帰つて、つづいて報告し、同意をのつて出かけることにすれば、たまにそれといふ結果に終ること、が、かつと少くなるのではなからうか。入植者の資格や条件、入植に必要な金銭、農具、日用品などの調達、携行物などの点も現地に行つて見ないとわかるもので、ちがう。農業のやり方が日本とは異なるので

給されるという言葉を真にうけて、なに
もか売れり松つてきたが、さきふればあ
れもいる。これらもつてくるべきだつた
とホッをかへでいる人がいた。処にいた
この私の提案は、コチヤ産業組合事務
理事下元健吉氏その他多くの現地有力者
の賛成をえていり、国内でも信頼をま
る機関が主体となつて、これを遂行し
るの組織をつくり、なる可く早い機会に
実現したいものである。

少年野球 練習試合

既報の通り去る五月の日曜日八日午前
十時半より、ノロ線クラブバス、ノロ線
ノルテセンターの少年軍を運んで、バス
ス中央カンホに於て練習試合が行はれた。
第一回 バストス対スルステ
新編成のバストス軍最初の試合。たゞ
練習マツチであつてもムネウツワリであ
る。総監督池田ルイス君長身をユニホ
ムにくるんで、初陣の要選手に一々な
がさしつする。いいか、おちつくんだぞ
毎日の練習と思つてやりやいなんだ、か
たくなるなよ、ボールが自分の前にとん
できたら目をつぶつてつかむんだ、とい
ふ。試合にていぬいた教えるようにも
見える。

いよいよ試合開始。やつて見ると、一軍
投手の肩のまわり内ホカ、と七八点
たたき込んできた。試合となり、一軍三三
二軍十四点の大差で楽勝した。

第二回 お客さん同志の一軍村が二軍
の試合である。一軍投手二度目のバレー
トに立つたが疲労も手伝つてか、さっほり
さえずボールの連發。ホ、球審さん、ちよ
つと位外れてもストライキトしてやれや
それ引さかえ。が二軍の投手のつかい
こと、大青車の体格、これが前に一度お
いざをして、それから反動をうけて、ふり
込む大きな投球。一軍、直球のすこい
のがうなりを立てて飛んでくるので打者
はあてるどころか、からだごとくねとほ
され、投手戦で暗がるくらいなされて、ま
う、が二軍は打撃も大きい振い、一軍の
守備もよい。それでも中々二軍バリ強
く二軍四回四回とかせいで六点を得たが
が二軍最後に乱打を浴びて十七点となり
三の差ながら一軍二敗を喫した。ムリも

前回は事前一時頃から起き、夜
風、うちみ、つて怪しむに未だのこ
ちのあんなかつた。あろう
第三回 本年の三座カクトフ候補がら
軍、休むいさも一勝のバストス軍とさす
、が二軍投手相不変大身振りの一
軍、前回は軍と戦つて、いる内打法を考
究し、あて主義で中二軍、とさす、た
か、あてがコッソ、とよく当るが皆内野
の口で一登がふめない。バストス軍の場
投手の大きい、が、三本塁カリと
ツトと、バストス、が、うらべ
、で、成念、や、や、う、れ、て、一、才、た、一、か
、の、成、因、は、エ、ラ、ト、い、う、の、は、諸、人、の、心、を
く、二、登、新、三、登、行、と、い、う、大、物、を、か、つ、と、は
、さ、水、に、結、果、が、あ、る、の、ら、少、年、軍、に、の、志、を
、は、ふ、り、を、け、あ、る、が、打、撃、の、研、究、と、投、手
、の、ガ、ン、バ、リ、に、持、つ、外、け、あ、る、才、い、ハ、軍、の
、本、年、登、新、の、大、会、に、出、て、見、て、カ、一、ハ、軍、に
、敵、つ、て、を、此、の、い、け、な、け、れ、ば、何、故、い、り
、な、い、か、と、研、究、し、て、も、う、一、度、其、の、博、客、で
、押、し、出、し、て、見、る、こ、と、だ、が、二、軍、見、た、よ、う
、な、大、人、の、よ、う、な、投、手、は、外、に、は、も、う、居、る、ま
、い、か、つ、あ、れ、以、外、の、投、手、な、ら、必、ず、打、て、る
、と、又、考、へ、る、と、思、う、全、力、を、あ、け、て、合、一、登
、ぶ、の、か、つ、見、る、こ、と、だ、

バストス軍は中々ツツが粘つている。
小粒ではあるがキビ、つていて、勢持ち
のよいチームを見せてくれた。(琉衣堂)

御 礼

五月八日に少年軍の試合を行いました
節は皆様に大感謝の事にいたしました
バストス婦人会の方々は一線会に於て
大務の炊事を中引受下され、ありがと
うございました。

池田、橋本、細江さん方は当日自家用車を
し、御使用の上、多大の便宜を計
つて下さいました。

当日は審判員の方々は後進指導の為
め、適宜御役目下ついで、頂上無事試合
を進行させて下さいました。

右、厚く御礼を申し上げます
トス少年野球部世話人一同 拝

皆さん F O T O C O P I A

を、ごらんくださいか
ドックメント・ジフロマ・カルテラ
イテンクネーテ

何でも大物なものをコッピアーして本物は
大物に、まっ、おきます
古田真真館

第六回奥パウリスタ

音楽発表会



○場所 バスト ス 産業会館

○日時 来る 五月二十二日 午後七時半開演

各団所属歌手

数十名

新發表競演

参加楽団
ト ッ パ ン
オ ク ル ー ス
ル セ リ ア
ア マ ン チ ー ナ
バ ス ト ス



前賣り切符
發賣中
御求の下さい

バストスひばり楽団

上段よりつづく

あまり広告すると大けさになるので、こ
つせりやつたつモリの処、各區から大勢
の客人あり、広い公会堂も身動きもなら
ぬ大入りであった。
シネマは日映社の「悲しきひとみ」破れ
太鼓の長尺二本建、夜の更ける追大坂
ひであった。(週報記事)

御 礼

一金五百針也 フラ柘様より

一金五百針也 バンテランラ組合様より

一セルベイジャ半サッコ 重道商店様より

一カラナー半サッコ 水口パール様より

一御菓子老百針程 古田製菓店様より

一金を百針及セルベイジャ 信太兵治様より

右は去る五月七日當區に於て恒例敬老会
を致しました節御奇贈のたいさしました。
ありがたく御礼申上げます

アルト 區 役員一同

アルト区では毎年入植を記念する色々な
行事を続行してきたが本年はシネマの会
を催し並ぬ同区六十才以上の老男女十七
名を招待し女子青年腕をふるってお料理
を作り敬老会を催して是れ人でもらった

Jaloo de Pinku

ピンニヨ板

天井板

いろいろ取揃って居ます

シジネイロホントより三軒上
フ・ウアルガス街

富 吉 木 工 部

カロッサ、カルサリアの 調製・修繕
など 迅速 丁寧 に いたします

カザメンテロ

Basamentino

フラジルのカザメンテロという言葉がある。これは日本では結婚媒酌人に相当するが、単に儀礼のしるしでなく、適当と思はれる未婚男女が知合になる機会を作ることに初まつて結婚まで運ぶことこのキユーピー以上の役をつとめる人のことである。

日本人の社会ではこのような結婚仲人は普通であつて、別に珍らしくもないが、自由結婚や恋愛結婚の行なわれるこの国にも、二人な習慣があるとは面白い。旧式の日本人気風から見れば若い男女が或る機会に知合になり、その後合意を重ねて恋愛に近道展させるのは、ふしだらと思はれるかも知れないが、事實はさうでない。自由であるだけに当人は真剣である。しかも父兄の諒解を得て正々堂々と交際期を経て婚約が成り、結婚をまの日本流の仲人を通じての見合結婚の方が進行の速度は遙かに早い。

処で話はカザメンテロに戻るが、ブラジルの社会にも内気の人居るの、勿論で、こんな人は概して自分から進んで異性との交際を求めようとしない。このうな人にカザメンテロを必要とする。所以で、そのお蔭で真面目な男女が交際を初め、幸福な結婚をする例もある。さりとて唯一回の結婚仲介をやった人をしてカザメンテロといふのは云はない。これを道楽として幾組かの結婚をまの、又世間から縁組みの神様のように見られる人がカザメンテロである。日本では数組をまのたむのレコードホルターもあるが、フラジルのとて、それには似た例がある。それが都会より農村に多いといはれる。同じく、うなものは、この考えれば出雲の神様は日本のみでなく、ブラジルにも居るのである。(白楊生)

右の一又は「道踏七十一号」からの転載だが大要面白いので御紹介する。わがバーストスのカザメンテロ一号は政松本高信さんの百七組、此の記録を破る人はあるまい。現役ではケロリアの石田光助老アメリカは込のスピードアツク。スキレドを一着に及んで高砂をうたうスライルは天下第一品。今は大物なバーストスの至宝である。若手カザメンテロは重道日会書記長、八重樫家具店主、藤原太郎田等の商店主何れおとりぬカザメンテロである。

内氣な青年よ、まご／＼せよと一日も怠らぬにゆきなされ。(係)

賞品譲渡奇聞 それは美しい話

昨年十二月卒業式シーズンに聯日会から、中学各学年オリメイトより元々、学校の方の調査におくられて卒業生以外は本年に入つてから本人たちをた由である。

ところが高等商業三年の首席と発表された本田忠臣(タダオミ)君。一人賞品をもらつたものの、どうも自分の点数の九十八点より、もう一人上の人があつた筈、そこで事務室へ毎日通つて調べたところ、自分より一点上の九十九点があつた。高等商業は各学年一考一人だけの賞表であるから、之は自分の受けるべきものでない。優等生を探すと、それは谷口連日會長の御曹子、谷口厚志である。早速授賞やりなほしをした。学校の方にも手ぬかりはあつたが、本田タダオミ君のスポルツマン的ないさぎよしい進退に全校の生徒は一せいに拍子を送つた相である。

カスカッタ區

家族慰安運動會とシネマの夕

来る五月十五日午前八時よりカスカッタ校庭で恒例の陸上大運動會が開かれる。ヒツナ方面はと／＼ごけんぶつにお出でなさい

又、同夜七時半より會館でシネマの又を催すことになつてゐる由

母燈台 (三益愛子)
慈一子 贈 (美空ひばり)

入場魚料

主催はカスカッタ男女青年團、各家長は後援の側にまわつたとのこと

市街地(カッタ(二〇×四〇))

場所、ホリネス教会下となり
中入用の方は... 週報社才で

養蚕室 2棟
住 定 1棟
賣却します

カスカッタ区ノ組
浅野武男

風雲の幕末・妖氣漲る東山三十六峰

月形半平太

熱心の志士 月形半平太がたどる悲壯の死斗と

哀恋きわみなき花柳情話

来る五月十三日・十四日夜八時より

〇〇〇〇〇

市川右太衛門 山田五十鈴 轟多川千鶴 美空ひばり

風土白刃の音がする 恋は おぼろの春の雨
濡れてゆく月影のやうに 恋 月形半平太

Conspirador

第二部

君の名は

舞台は西國のはて雲仙から北海道にうつり……

真知子と春樹の別れては相寄る奇しき運命

美しき恋は結ばれんとして成らぬ かはらうの如く情えて

お忘れなく来る 五月二十日・二十一日・夜八時より

全日本のファン百萬の紅涙を絞った名篇第二部来る

◎^{ボクシング}拳斗勝つか？柔道勝つか？火花ちる国際大試合

かつて「キング」と南米時事に連載されて満天下を湧かせた大傑作

原作富田常雄・監督佐伯幸三

春樹の門

五月二十七日・二十八日夜八時より

菅原謙二・山本富士子・若尾文子・オールキヤスト

Fibra de Campeão

パンデラ